



# グリップヒーターHG 取り付けについて

08Z51K30S01

適合車種：X350

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

## ●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。  
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、  
ナットの取り外し方については車両のサービス  
マニュアルを参考にしてください。

## ●構成部品●

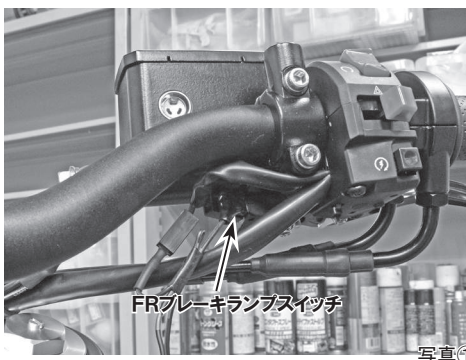
- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・アース線・・・1本
- ・フランジナットM6・・・1個
- ・書類・・・1部

## ◀取り付けについて▶

### ①配線の接続について（図①）

付属している電源線の+側はFRブレーキランプスイッチ部（写真①）に割り込ませるようにして、  
アース線はラジエターマウント部（写真②）のボルトに付属のナットを使用して、共締めします。

※ブレーキランプスイッチは必ず、乗車側の端子に割り込ませてください。  
車体前方側に取り付けても、キーONで通電しないのでご注意ください。

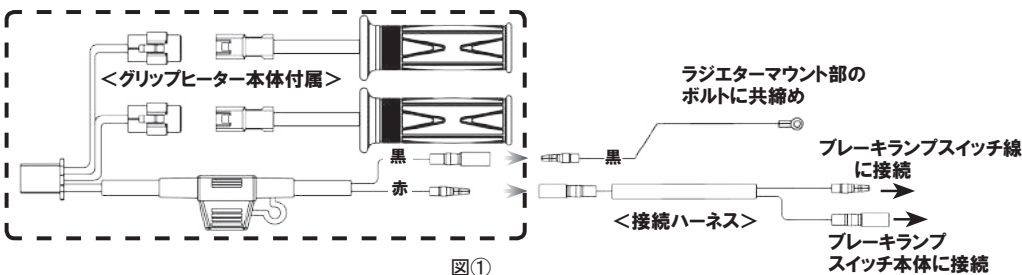


写真①



写真②

このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。  
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



### ②純正グリップの取り外し

左側の純正グリップおよび純正スロットルパイプを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

### ③スイッチ部の取り付け

グリップヒーター本体に付属のハンドル  
ブラケットセットをハンドルパイプに固定します。  
（写真③）

→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置  
にクランプしてください。その後、両面テープ  
またはビスで制御スイッチを固定します。



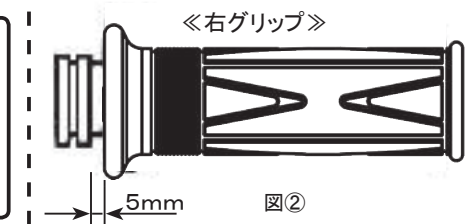
写真③

### ④左右グリップの取り付け（参考例）

図①を参考にして、本取り付けキットを使用して  
グリップヒーターを接続した後、スイッチをONに  
してグリップが手で触って暖かいくらいまで  
仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。  
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に  
純正を取り外して付属のスロットルパイプに  
交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。  
※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に  
全開に戻ることを確認してください。

**注意**

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。（特に右側）内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。  
※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。  
※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全開まで戻ることを確認、点検を行ってください。

### ⑤配線のまとめ

左右グリップの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように左グリップの配線は純正スイッチBOXの配線に沿うように通してグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。  
また、配線の長さが余ってしまっている部分は純正のメータステー部にタイラップなどでまとめて固定します。  
→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

### ⑥取り付け完了

取り外した部品を元に戻せば完成です。  
動作確認をします。問題なく温まったら、カウルなど外した物を元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。  
※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。  
※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。  
※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。